

## インターンシップ

## 山口県立山口農業高等学校

## 環境科学科・参加生徒17名

久保拓也・(株)アサヒコンサル山口営業所

1日目、どんな会社か、どんな仕事か待っているのか、わからないことが多いけれども緊張していました。実際、会社に行くと明るく明るい方々ばかりで安心しました。打ち合わせ後、早速現場に行きました。



まずは、7月の豪雨災害現場で撮影をし

ました。この現場では、河川のコンクリート堤防が何箇所も大きく崩れており、コンクリートの堤防があつたとわからないほどでした。災害現場なのでかなり危険な現場でした。午後になると、会社の方とも打ち解けて、現場は大変でしたが楽しく作業することができました。

2日目、前日と同じ現場で河川ではなく山に入りました。河川ほど危険な感じはありませんでしたが、山から流れ出した土砂が水田や倉庫の中などに入り、大きな被害が出ていました。民家は壊れてはいませんが、多いところでは1階天井近くまで土砂で埋まっています。その現場では、レベルとトータルステーションで測量し、被害の平面図作成や土量計算を行いました。被害に遭われた方々のことを考えると、とてもやりきれない気持ちになりました。

3日目、同じ現場で1日目と同じような作業を行いました。集中豪雨の影響で災害復旧の仕事が増えて毎日徹夜状態で、会社の方々は大変忙しい日々が続いていました。そんな中で、多くのことを教えてくださり感謝の気持ちでいっぱいになりました。

最終日、この日は雨だったので、これまでの測量結果を用いて会社で計算をしました。昼からは、天気が回復したので3日目の現場で、レベルで測量をしました。

授業で測量の勉強や実習はしてきましたが、実際の現場で行ったことがないので、とてもよい経験になりました。また、いろいろな器械の目的や操作方法などがわかり、いい参考になりました。

## 岩本 健太郎・藤本工業(株)

私のこの4日間の現場実習の感想は、「土木の仕事は、とても疲れるけどやり甲斐のある仕事だ」ということです。

1日目は、防府の西浦で樋門について学びました。この現場で行っていた工事は、古い樋門を取り壊して新しい樋門を造っていました。現場での説明で、樋門の役割や仕組みを丁寧に教えていただきました。午後からは、レベル測量を行いました。久々に行ったので正しいデータがでるか心配しましたが、少し誤差はありました。正しい正確に読めたので安心しました。

2日目は、佐波川の堤防維持工事現場でした。最初に7月21日の集中豪雨による土石流発生場所に行きました。山から流れ出した土砂が河川を埋め、その土砂を取り除いていました。川の中の土をスコップでひたすら掘る排除作業ですから、すごく大変な作業だと感じました。その後、佐波川ダムを見学しました。午後からは、佐波川沿いの除草現場を見学しました。除草用の機械の見学と体験操作をしました。その中で一番印象に残っている機械が、ラジコン機のような草刈り機です。コントローラーで操作しながら草を刈るのでとても楽しそうでした。すこし、操作を体験させていただきました。

ました。刈った草は、機械で集めて丸めて牧場に渡すということでした。いろいろなことがすべて大変充実した一日でした。

3日目は、防府の中関の舗装工事現場に行きました。アスファルトフィニッシュヤで舗装する前に、近所の家へ許可を得てとりかかりました。このような工事では、現場周辺に住んでおられる方々とのトラブル防止も重要だと感じました。この現場には、大型の重機が多数あり、ローラーやダンブトラックなどが休みなく使われていました。舗装した直後の道路は、とても熱く水をか



けてもすぐ蒸発してしまいました。また、この日の気温は大変高く実際に舗装工事をしておられる皆さんは暑そうで、大変さが十分に伝わってきました。

4日目は、国道262号の土石流現場に行きました。国道は通行止めのみで、もう少しで仮設橋が完成し通れるようになるということでした。「山口と防府を結ぶ重要な道路なので一刻も早く復旧してほしい」と思いました。その後、現場周辺の山の中に入りました。元々道があつたということでしたが、木々が倒れ、全部土で埋まっています。家の壁にも、土石流の高さを示すように土の跡が付いており、被害の大きさがよくわかりました。

この4日間、たくさんのことを教えていた

だけ、土木の仕事の内容や「一生懸命に働く」ということの大変さがわかりました。また、頑張ったことで得られる達成感も知ることができました。進路決定の際には、この経験を生かしたいと感じています。

## 山口県立岩国工業高等学校

## 都市工学科・参加生徒40名

田中 雄・西山建設(株)

土木の現場には怖い人がいるイメージが強く、つらいだけの仕事だと思っていました。が、今回現場を見させていだいてイメージが変わりました。現場の方の話を聞くと、確かにつらいこともたくさんあるけれど、それよりも図面通りに徐々に完成していくのを見ると、楽しいし、達成感が味わえると言われました。

午前中の最後に行った道路工事の現場では、山を削って道路にしていたのですが、その作業を二人で行っていると言われて、信じられません。

社長さんには「何か一つ自分の強みを持つこと」、山根さんには「若いときにいろいろチャレンジして自分のしたいことを見つめる」のが大切だと言われました。就職のことについて何も考えていなかったけれ



